

議会だより

No.157

令和元年11月1日発行

2019 NOVEMBER



楽しくダンス
P9に関連記事

分かりやすく伝わる誌面になっていますか？

今号より読みやすいユニバーサル書体を使用しています(P14参照)



只見町議会中継は、只見町議会ホームページからも視聴できます。
◀議会中継へ

平成30年度町の決算を認定 …	2
保育料無償化 ………………	6
新空き家対策 ………………	12
一般質問8名が町政をただす ………………	15

求める

平成30年度 決算を認定

9月 会議

町の決算は、こんな法律の決まりが…

会計管理者は、毎年8/31までに町の決算を町長に提出しなければならない

町長は、その決算内容を監査委員の審査に付さなければならない

町長は、監査委員の審査意見書を添えて議会の認定に付さなければならない

※町村長に決算提出の義務を、監査委員に決算審査の義務を、議会に決算認定の権限が与えられている。

最大財源である地方交付税は、27億7600万円。前年度より3.4%増額したが、今後国の推移が更に注視される。町税は、軽自動車税が増えたが、町民税や固定資産税の減少で前年度比1.8%減収した。国庫支出

平成30年度一般会計の実質収支は、1億1800万円の黒字で、内6000万円を基金に積み立て、5800万円を翌年に繰り越している。

金は、前年を下回ったが、旅行村整備事業により県支出金が前年より約40%増加した。人件費など経常的な支出に充当される一般財源の比率、経常収支比率が適正値を若干上回ったが、財政健全化法による比率は、他の数値も含めて健全と判断した。

議会・積極財政を

財政指標健全と判断

あらまし

令和元年9月会議が9月10日から20日までの日程で開催されました。
1日目は、議長の諸般の報告の後、町長より行政諸報告と議案の提案理由の説明が行なわれました。その後、各常任委員長の所管事務調査報告を行ない、2日目から始まった一般質問には8名の議員が登壇し鳥獣被害対策など町政をただしました。

3日目からは、条例や補正予算などの審議と全員協議会を開催。9月会議の目玉となる平成30年度の決算審査は、町長、教育長の総括説明と代表監査委員からの決算審査報告を受けた後、特別委員会で3日間、事業効果などの視点から質疑が交わされました。本会議最終日の20日、決算特別委員長報告を賛成多数で可決し、平成30年度決算を認定し閉会しました。

主な平成30年度事業

①役場庁舎暫定移転事業	2億3900万円
②明和振興センター耐震改修事業	4560万円
③旅行村整備事業	1億9660万円
④防災行政無線更新事業	1億2200万円

更なる公務員倫理



第2回子どもクラブ親子教室（蜂蜜ってなんだろう）

決算特別委員会意見要約

開催日 令和元年9月17日～19日(3日間)
委員長 山岸 国夫
副委員長 酒井 右一

- ①近年の事務事業の多様化から職員のスキルアップと地域の将来を見据えた適切な判断と財政運営に努めること。
- ②職員の不祥事が多発したことから、公務員倫理とすべての事務事業の法令遵守の徹底を図ること。
- ③人口減少と高齢化が止まらず集落機能の低下が著しい。鳥獣被害等への早急な施策の構築と協働のまちづくりを意識した効率的な行政執行に当たること。

決算審査意見要約

監査日 令和元年8月5日～8日、26日(5日間)
代表監査委員 栗木 豊
議会選出監査委員 目黒 仁也

- ①倫理強化
職員の不祥事が多発し処分が発生している。公務員倫理の徹底と町民の信頼回復に努めること。
- ②定員確保
中途退職などから職員数が減っている。早急な職員確保に努めること。
- ③超勤(残業)
職員の健康管理に配慮した労務管理の徹底と適正な人員配置を図ること。
- ④経常収支比率
比率が上がったことから、経費の節減と政策的経費の財源確保を図ること。

借入金残高

年度	残額	備考
平成27年度	72億2800万円	30年度末町の借入金残高(起債残高)は、約76億円、内、今後国の補填が約65億円で実質の借入金残額は11億円となっている。
平成28年度	75億2000万円	
平成29年度	73億3700万円	
平成30年度	76億7100万円	

基金(貯金)残高

年度	財政調整基金	その他基金計	合計
平成27年度	12億5300万円	51億6500万円	64億1800万円
平成28年度	11億4400万円	50億6000万円	62億400万円
平成29年度	11億4500万円	49億8100万円	61億2700万円
平成30年度	10億5600万円	48億3300万円	58億9000万円

そこが知りたい

山村の生き残りをかけて

産業に結ぶ投資に期待

当町はエコパーク登録の町として5年が経過した。今まで自然保護や学術調査事業などに

刻化し、一步踏み込んだ対策の必要性を議会は要請した。

らに対して当局は、今後大きな形で発信できるように仕組みづくりを協議しているとした。

一方で山林は伐期を迎えその活用が課題だ。

着実に進んでいる。エコパークを「地方創生」として捉え、将来の若者が暮らしていける産業を模索し、それに投資すべきである。これ

森林が9割以上占める山の活用に知恵を出さなければならぬ。「水の郷・只見」の水の活用も同様である。

また、病害虫被害も拡大している。田畑では、鳥獣被害も近年特に深

高齡化などで荒地が増えたことなどもあり、サルなどの鳥獣被害が深刻な状況にある。このことは一般質問でも取り上げられたが、決算審査でも国の支援制度を導入するなど、対策を更に強化すべきとした。これに対して町当局も計画策定に取り組むとしている。

高齡化などで荒地が増えたことなどもあり、サルなどの鳥獣被害が深刻な状況にある。このことは一般質問でも取り上げられたが、決算審査でも国の支援制度を導入するなど、対策を更に強化すべきとした。これに対して町当局も計画策定に取り組むとしている。

決算審査



ブナセンタースタッフの指導で森林探索

深刻 鳥獣被害



平成30年度鳥獣捕獲隊実績		
事業	町補助金	備考
活動経費	485,000円	実射訓練補助
捕獲駆除事業	222,000円	カラス12羽、キジバト4羽、アオサギ2羽、カワウ20羽、サル10頭、 なお、ニホンジカ21頭、イノシシ4頭は県の事業あり。

平成30年度病害虫駆除（ナラ枯れ）実績		
事業	町補助金	備考
樹幹注入	712,800円	
抜倒駆除	353,350円	只見字向山地内／100本
対象木調査	—	

宿泊・飲食事業持続化創業支援 実績向上の指導を

町内の宿泊施設の収容人数の増加などを図るため宿泊や飲食を営む事業者への補助を平成27年度から実施し平成30年度末23件8140万円の実績となっている。

決算審査では、当初計画に対する効果の検証について質疑が出され、当局は、まず実績調査をしっかりと行ない、要綱に照らし十分に判断したいとした。

診療所入院制限撤廃に向け 年度内待たず解消

町民の最大の関心である診療所の入院制限撤廃について質疑が行なわれた。いつまでに入院制限を解消できるのかの質問に対して町当局は、「なるべく早く、年度内待たず解消

したい。」とした。

なお、スタッフ不足の解消には、医師や看護師にいい住環境も必要としたが、町当局は、現在建設中の長浜借り上げ住宅の活用を考えを示した。



入院制限の続く朝日診療所

総括質疑

中山間整備事業「不採択」を どう考えるか

強力に推進したい

問

集落は高齢化で普請などの集落作業が大変厳しい状況になっている。中山間事業は、過去29年、30年と2ヶ年不採択となったが、今後町単独では財源的に厳しい。町には採択に向けた最大の努力をしてほしい。

答

事業費が大きいため絞って申請したい。なお、他の事業も併せて検討する。集落の維持管理の状況は高齢化等で年々厳しいことは良く理解しており、町としても強力に推進したい。ご理解を願いたい。

民芸品原材料山ブドウの植栽を 他の原材料含めて研究

問

ユネスコエコパークの活動実績に民芸品の品質向上がある。このままだと作り手、原材料がなくなること考えられる。例えば、山ブドウを大きく植栽して民芸品を継続させるような考

答

え・発想はお持ちか。確かに昔から続いている民芸品は町内を代表するお土産だ。言われることは課題と認識しており議論している。その他様々な原材料も含めて研究したい。

平成30年度各会計決算認定の賛否

会計名	賛 否									
	酒井	佐藤	鈴木(征)	目黒(道)	大塚	中野	目黒(仁)	藤田	鈴木(好)	山岸
一般会計	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
介護老人保健施設特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域包括支援センター特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集落排水事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日財産区特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

討論

私は反対

一般会計決算認定
酒井右一議員
布沢並滝橋災害復旧事業は、只見町公共事業補助金交付規則に抵触する支出と思われるため反対

国保事業特会
山岸国夫議員

基金を活用し、個人負担を軽減すべき

国保施設特会
山岸国夫議員

臨時と正職員の給与格差があり反対

後期高齢者医療特会
山岸国夫議員

75歳で区切る制度自体に反対

介護保険事業特会
山岸国夫議員

年々増加する介護保険料に反対

補正予算



明和保育所親子料理教室

国・子ども子育て支援法改正で 10/1より保育料無償化

町・システム改修費追加補正

国方針

国は、少子化対策として幼児教育の負担軽減を図るため、子ども子育て支援法の一部を改正し、令和元年10月から幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳児クラスの子供たち、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまでの子供たちの利用料を無料とする。なお、財源は消費税の増税分が充てられる。おやつ代4500円は補填しない。

町の現状

町は既に年長（5歳）、年中（4歳）の

議会の意見

保育料無料化を行なっている。この度の国の施策に準じ、町は令和元年10月分より3歳から5歳児までの保育料無償化を行なう。国の方針に従い、3歳児未満は住民税非課税世帯のみ無償化となる。なお、昼の給食とおやつ費用は町が独自の施策として無償化しており、今後も継続する。この無償化に伴い、保育料システム改修委託料358万円を議決した。

議会からは、保育料無償化に伴う国からの財源を当て、全ての子どもたちの無償化を行なうべきとする質疑が出された。

令和元年9月会議各会計補正予算

会計名	歳入歳出予算	議決内容
一般会計 (第3号)	58億7210万円 (1億2590万円追加)	原案可決
国民健康保険施設 特別会計 (第1号)	3億9100万円 (56万円科目更生)	原案可決
介護保険事業 特別会計 (第2号)	7億5830万円 (216万円追加)	原案可決
簡易水道特別会計 (第2号)	2億7210万円 (10万円追加)	原案可決
集落排水事業 特別会計 (第1号)	2億6460万円 (460万円追加)	原案可決

森林環境譲与税

地球温暖化を防止するためなどの森林整備財源として国は森林環境税を創設している。課税はまだだが、先立って国から只見町へ配分された374万円を森林環境基金に積み立て今後森林整備や木材

利用促進等に幅広く有効に活用することとなる。9月会議では、基金条例の議案と補正予算では、交付された森林環境譲与税をその基金に積み立てる歳出予算が可決された。

令和元年一般会計補正予算(第3号)主な内容

(歳入)	金額
町税 (町民税)	1061万円
地方交付税	8457万円
分担金及び負担金 (保育料無償化関連)	△209万円
(歳出)	
駅前車庫新設工事 (木造2棟)	290万円
プレミアム付商品券発行支援委託料	2635万円
保育料システム改修委託料	358万円
保健センター自動火災報知設備改修工事	1456万円
農村公園遊具修繕・撤去	72万円
森林環境基金積立金	374万円
農業用施設災害復旧工事 (塩沢他)	200万円

水道・集排審議会

町では水道施設と農業集落排水施設の健全運営のため水道事業及び農業集落排水事業運営審議会を設置しており、今年度2回の審議会を行ない、今までの経過とこれからの料金等の説明を行なってきた。水道料金について

は長年料金改定をしておらず、高齢化、人口減少のため水道料金を上げることに慎重な意見と消費税増税もあり、今後も慎重に審議し今年度中、早ければ年内にも結論を出したいとしている。

農業委員の選任

7月第2回会議において、農業委員の選任について同意した。農業委員は次のとおり。

新農業委員

小沼 一弘 (只見)	齋藤 聡 (亀岡)
三瓶新一郎 (蒲生)	飯塚 春夫 (大倉)
佐藤 泉太 (叶津)	湯田 次雄 (布沢)
渡部周一郎 (小川)	星 和榮 (塩ノ岐)
吉津 紘二 (福井)	山内 征久 (梁取)
渡部 理一 (福井)	

こんな質問がありました

森林環境譲与税

374万円

問 税自体の内容は

答 令和6年の予定で、一人100

0円の課税となる。国が先立ち全国市町村に配分した。

問 今後森林の病害

虫の駆除などに

答 この財源が使えるのか。国県から使途などについての説

明がまだないため基金に積み立てる。



豊かな田園風景

町道真奈川線 / 蒲生地区

電源開発(株) の管理に

9/13 町民が安心して暮らす
ために、町に問う

全員
協議会

電源開発(株)は、滝調整池堆砂土砂撤去工事の残土置き場を地権者の承諾を得て真奈川地区に決定しました。町は、町道真奈川線を工事用道路として電源開発(株)に貸付け、工事終了まで電源開発(株)で道路管理を行なうことになりました。議会は、全員協議会でこの事を取り上げ、工事の内容、今後の道路管理や環境問題などについて質疑を行いました。





工事の内容を確認した全員協議会

工事内容

現在は、残土を置くための排水工、盛り土が流出しないための土盛り工事を実施している。土砂運搬ができるようになったら、年間10万mを目標に順次運搬する。現在整備中の場所は約5年後に満杯となる予定。

議会が問題とした点

■情報公開

工事に当たり、町の財産である町道改変や町道橋の架設が伴うが、議会への説明がないまま現在に至った。情報公開の不足を指摘した。

■住民の安全確保

真奈川集落は、過去に水害で全戸移転した歴史があり、今後洪水等で万が一土砂被害が起こった場合の対応策等を求めた。

山菜採取や「あがりこの森」等を訪れる一般車輛、又は入り口付近住民の安全確保について要請した。

■環境配慮

運搬土砂の安全性やエコパークの町として環境アセス等、町から

の環境指導の必要性を要請した。

■跡地利用

今後、広大な平坦地が残るが、その跡地利用計画の必要性を求めた。

町の回答

安全管理等
電発が対応

議会への経過等の報告については、反省を踏まえて以降については情報提供させて頂きながら対応する。

一般車両の立ち入り、災害対策等住民の安全管理について、更には、土壌汚染検査等環境への対応等についても電源開発で十分な対応を行う。地権者、蒲生区、電源開発が協議し合意に達している。

まとめ

工事完了後の跡地利用など課題

今後、町と議会は住民の利便性と安全が確保されて工事が行なわ

れるか、注視していかなければならない。それとともに工事終了後の跡地利用方針を決定し、電源開発(株)と協議を進めていく必要がある。

その他 こんな話し合いがありました

全員協議会は、法的根拠に基く議会活動として行なわれています。

行政諸報告

問 町長が報告する行政の諸報告で、もっと多くの情報を公開してほしい。

答 一定の基準を設け、内部で検討したい。

湯ら里改修計画

問 議会が今後の交流人口対策で示した改修方針は検討されているか。

答 取締役会を開催し、議論中だ。

道の駅計画

問 詳細な全体工程を示して欲しい。基本計画の策定方針は。

答 町民を含めた道の駅検討会を置きたい。

表紙の写真

楽しくダンス

亀岡ビーチバレーコートでただみコミニティークラブが行なった「砂場でおもいっきりあそび」のひとつコマ。参加者は、未就学児や児童と親子。始まりは、ダンスインストラクターが子供たちに簡単なダンスを手ほどき。リズム感のいい子供達はすぐ自分のもの。はあくお母さんつかれたよ。



委員会 活動

経済文教常任委員会

今後の観光の在り方検討開始
道の駅スタッフ1名決定
地域おこし協力隊募集



水の郷うまいもんまつり

当局は、現在計画中の「道の駅」を含めた公共観光施設の管理のあり方を検討するため福島自治研修センターから総括アドバイザーを招へいし、今後の観光の方向性・組織などについて検討を開始している。

計画中の「道の駅」の中核スタッフについて、地域おこし協力隊の募集を行ない現在1名を決定した。更に1名の追加募集を行なう。委員会では、まず運営スタッフの確保を急ぐこと。立ち上げまでの実務研修などをしっかり行なうことを要請している。なお、運営は、第三セクター会社が検討されている。委員会は、継続して調査していく。

総務厚生常任委員会

診療所のスタッフ確保策
職員の管理監督と健全な職場環境
危機管理体制



大勢で賑わう敬老会

町民の最大の関心事である診療所の課題について、委員会では、①まず入院制限撤廃に向けて総力を上げること。②医療スタッフ確保のためには、町の奨学金制度を真に役立つよう見直すこと。③雇用形態は臨時雇いでなく、期限付き採用を要請した。

職員の処分・退職は町にとつての大きな損失である。町長以下管理職は、職場訪問を密にし、健全な職場環境づくりに努めることを要請した。防災訓練の十分な内容周知や各施設管理の連絡・指示体制など、危機管理について要請した。

広域 議会



第2回南会津地方環境衛生組合臨時会

日時 令和元年6月25日
場所 南会津地方環境衛生組合
出席 鈴木 征議員、齋藤邦夫議員、
山岸国夫議員

人事決まる

南会津町議会議員選挙による広域議員変更により議長選挙が行なわれ、佐藤盛雄下郷町議会議長が選任される。以下、互選で決定した。

- 管理者 南会津町長 大宅 宗吉
- 副管理者 只見町長 菅家 三雄
下郷町長 星 學

第3回南会津広域市町村圏組合臨時会

日時 令和元年6月25日
場所 南会津町広域行政センター
出席 佐藤孝義議員、齋藤邦夫議員

人事決まる

南会津町議会議員選挙による広域議員変更により議席の指定を行なった。議長選挙では、佐藤盛雄下郷町議会議長が選任される。以下、互選で決定した。

- 管理者 只見町長 菅家 三雄
 - 副管理者 檜枝岐村長 星 明彦
- 他に南会津町長 大宅宗吉、下郷町長 星學が互選される。

広報広聴常任委員会

見やすく町民に議会活動が伝わる
広報誌をめざして

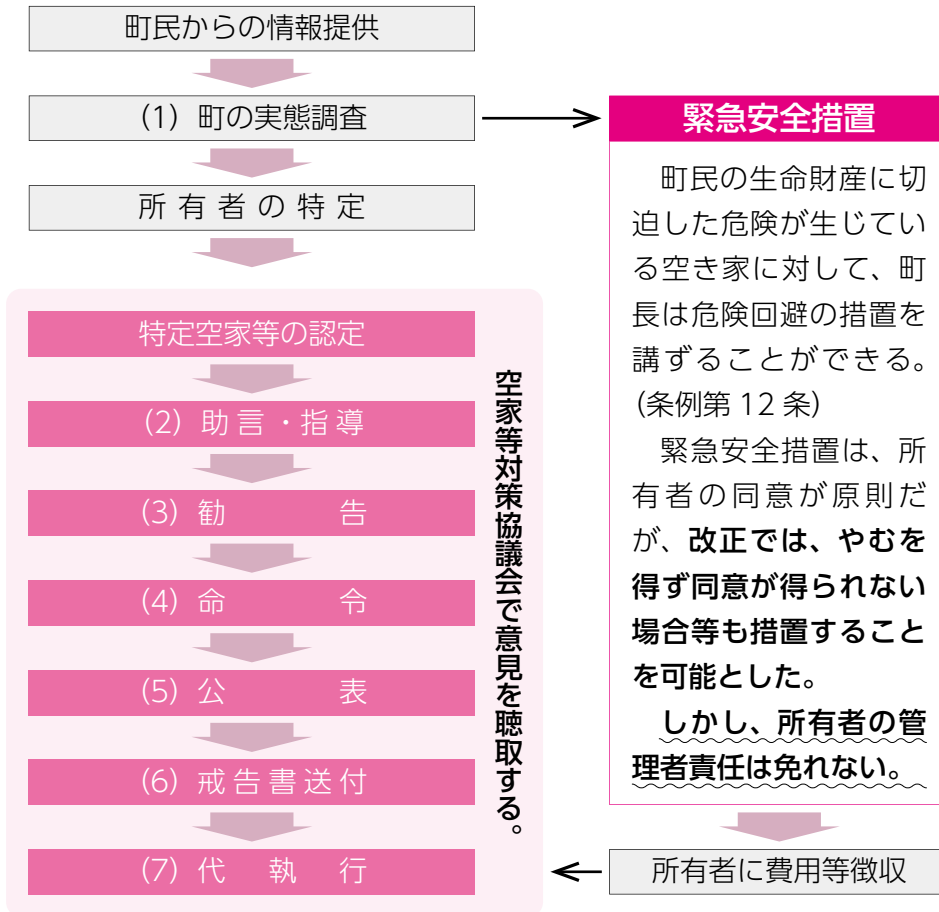


クリニック受講

委員会では、全国町村議会議長会主催の広報クリニックを受講し、議会広報そのものの役割、住民に伝わる紙面構成などを学んだ。特にユニバーサルフォント（誰もが読みやすく工夫された文字）についての推奨があり、今号157号から改善を図った。

読みやすい広報誌づくりは、議会への住民の関心を高めることにもつながり、今後更に改善を進めていく。町民のみな様のご意見をお寄せください。

空き家管理に関する流れ



条例

空き家対策条例改正

町民の生命財産に切迫した危険が生じている空き家に対して、町長は危険回避の措置を講ずることができる。
(条例第12条)

緊急安全措置は、所有者の同意が原則だが、改正では、やむを得ず同意が得られない場合等も措置することを可能とした。

しかし、所有者の管理責任は免れない。

改正のポイント

- 1、特定空き家（放置すれば倒壊等危険状態又は衛生上有害な状態の空き家）に対する指導、措置などを実施していくことを明確化。
- 2、町長が行なう緊急安全措置について、所有者同意が得られない場合、又は、所有者が特定できない場合も措置を行なうことができるように改正。
- 3、只見町空き家等審議会に関する規定を削除し、新たに只見町空家等対策協議会に関する規定を追加する。

空家等対策の推進に関する特別措置法（平成27年5月）に先立ち、只見町では、平成26年6月に空き家等の適正管理に関する条例（通称：空き家条例）を制定し対策がとられてき

たが、法律との整合性を取る条例改正が検討されてきた。各常任委員会の協議を経て、その改正案が8月会議本会議で全会一致で可決された。改正のポイント

なぜ、改正か

議会傍聴にお越しく下さい。次の定例会議は12月です。

お問い合わせは、議会事務局まで TEL 82-5300

県道の改良促進をお願いします

要望名 「県道小林・館ノ川線整備促進について」
 要望者 県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会
 要望日 令和元年10/8
 福島県議会、副知事、土木部



県土木部への要望活動

県道小林・館ノ川線は、国道289号と並ぶ町民の大切な生活路線である。特に小林外山から亀岡間は道幅が狭いため改良が急がれ、沿線区長をはじめとする改良促進期成同盟会は毎年改良要望を県に行なっている。

本年は10/8に町

陳情審議・要望活動

町道を整備してください

陳情名 「新田沢～館ノ川間の町道整備のお願い」
 陳情者 只見牧野組合、只見区
 令和元年6/18受付7/10経済文教常任委員会付託

7/26 現地調査



陳情者、町当局との現地調査

委員会審査

7/26、8/28の経済文教常任委員会での審査結果は、次の理由から一部採択とした。
 ①崩落個所の災害復旧工事については、通行者の安全確保のため採択と決定した。
 ②路線のアスファルト舗装については、石伏館ノ川線が既に代替路線として十分機能を果していることなどから不採択と決定した。

9/20 本会議委員長報告議決

上記を理由とした経済文教常任委員長報告が9/20の本会議で行なわれ、委員長報告の通り全会一致で議決された。

県・整備意向を固める

長、議会、沿線区長によつて県議会、副知事、県土木部に対して行なわれた。非常に山が急峻等課題はあるが、県当局からは、着実に事業を進めていきたいと前向きな意向が示された。

議長動静

奥会津五町村議会議長連絡協議会

五能線視察研修

8月23日、奥会津五町村議長会で、JR五能線を視察した。JR東日本秋田支社においてJR東日本仙台支社副課長同席のもと、観光路線として整備した

経過や運行状況などの説明を受けた。また、五所川原市では、当時の観光担当課長から沿線町村の取り組みなど、地元の熱心な取り組みについて説明を受けた。



JR 五能線「リゾートしらかみ」



ブナりん

教えて! 議会のこと

Vol.21



アカシヨウちゃん

『議会サポーター制度』 ってなあに?



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami

「町議会」では、町民生活にかかわる重要な町の予算や条例などのことがらを決めていきます。このため議会は「議決機関」と呼ばれています。

「町長」は議会で決められた事に基づいて、実際に町の仕事を行うので、「執行機関」と呼ばれています。

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



ブナりん 議会サポーター制度って、どんな制度なの?

議長 今、開かれた議会とするため、町民参加を広げるためにも、町民の知恵を借りて、政策づくりを協働で進める事が求められているんだよ。



アカシヨウちゃん 具体的にはどんな感じなの?

議長 当町の議会活動に賛同して頂ける町民の中から、様々なノウハウを持った方々に参加していただき、相談、助言をしていただく制度だよ。



イワっぺ 議会活性化に役立つ制度だね。

議長 町の人口が減り、議員のなり手が少ない現状では、町民の知恵を借りて、政策づくりを協働で進める大切な制度だよ。

ブナりん この人達の中から、議会議員に立候補する人が出るといいね!

議長 只見町の将来を一緒になって考えて行きたいね。



只見町議会中継は、
只見町議会ホームページから
視聴できます。

『ユニバーサル書体』ってなあに?

UD Font (Universal Design Font : ユニバーサルデザインフォント) とは、「ユニバーサルデザイン」のコンセプトに基づいたフォントです。

UD(ユニバーサルデザイン)とは、『できるだけ多くの人々が利用可能であるようなデザイン』を基本コンセプトとしたデザインの事で、人が生活する上で「使いやすさ、見やすさ」といった細かい部分にも配慮・工夫をしたデザインをさします。一般の人はもちろん、お年寄りや障害者の方、外国人の方など皆が「便利だな、使いやすいな」と思えるデザインです。





一般質問

- **大塚純一郎** 16
スーパープレミアム商品券の効果は
- **藤田 力** 17
クリーンアップ作戦に支援を
- **鈴木 征** 18
道の駅基本計画の策定は
- **鈴木 好行** 19
鳥獣被害が増加、対策は
- **中野 大徳** 20
駅名に冠を付けたらどうか
- **山岸 国夫** 21
全ての園児の保育料無料化を
- **酒井 右一** 22
診療所の将来像は
- **目黒 道人** 23
チームに貢献できる職員の育成を

町政を問う

町を想い8名が

一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行うことです。

スーパープレミアム 商品券の効果は

答 好評価を得ている



おおつかじゅんいちろう
大塚純一郎議員

問 20%お得な只見町スーパープレミアム商品券が町民限定で8千万円分販売された。町民の消費喚起と地域経済活性化を目的に、町内の小売業、飲食業、サービス業、工業、建設業で扱う全ての業務で現金同様に扱うことができる。現在、会津若松市や南会津町等の町外へ買い物客が流出している。また、インターネット通販による販売が若者を中心に増大している。この事業は、町内の商業者を後押しするも

のであり、町民も喜んでいる。この事業の政策効果は。

答 この事業は、町内への消費の引き留めに一定の効果があると考ええる。商工会加盟全業種で利用できる。プレミアム率20%になったことにより、

町民が生活必需品の購入だけでなく、高額商品の購入にも利用されており、好評価を得ていると考える。

問 この事業展開により、只見町が魅力的な住んでみたいと思われる町となる一助になると思うが、年間を通じたプレミアム商品券事業は考えられないか。

答 今後、国道289号八十里越の開通を見据え、検討していきたい。



使っていますか？スーパープレミアム商品券

介護の現状と 今後の対応策は

答 できる協力を継続したい

問 町の介護施設の入所者が満員の状況と聞く。施設入所の待機者やその家族は、今大変な状況で在宅介護をされている。

答 各施設の運営委員会が現状の報告を受け、情報の共有に努め、対応策の協議を行ない、できる協力を継続したい。職員確保については、定年退職者を想定した職員募集行ない、人材確保に努めている。

問 介護施設への入所条件について、町内の人と町外の人との入所優先順位の基準は明確にされているか。

答 選考委員会において慎重な審査判定において決定している。

クリーンアップ 作戦に支援を

答 大型機械など想定外

問 毎年7月に行なわれるクリーンアップ作戦について伺う。自然首都只見に相應しい清流を守ることが重要だ。一方、町の高齢化は年々進み、こうしたボランティア活動にも大きな影響を与えている。我が新屋敷の組頭によると、近年

世帯数が47から38世帯に減少。参加者も24人から13人に、威力を発揮する草刈り機の台数も15台から12台になり、先に立つ組頭は、当然苦労している。こうした声が町に届いていないか。また、町でトラクターにつける大型の草刈り機を借上

げ、作戦前に実行して皆さんの負担を少しでも軽くすべきと考える。

答 集落から高齢化により作業に苦慮しているとの報告は受けていない。機械支援については、地域住民が可能な範囲で参加協力を求めるもので想定していない。

問 町長は前只見区長を歴任されている。その町長から今のような答弁を聞くとは思わなかった。区長さんが役場に来てお話しになったこと、どう思うか。

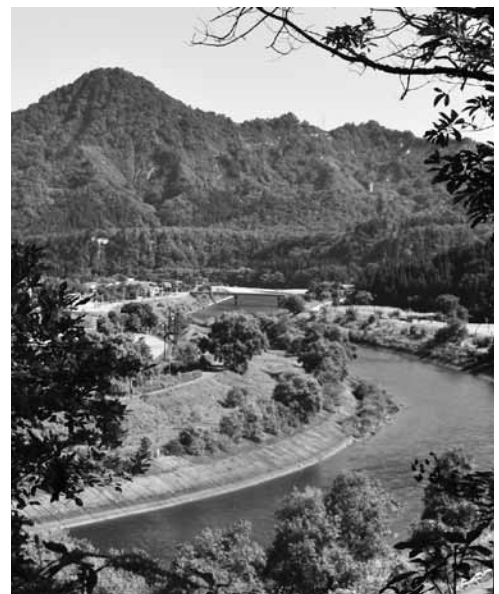
答 そういったご意見があれば、制度の説明をしながら対応したい。



ふじ 藤 田 ちから 議員

除草剤ラウンドアップ 使用禁止を

答 条例制定は考えていない



旅行村から望む只見川、只見は自然が宝です

問 発がん性が指摘されている除草剤ラウンドアップについて、8月24日の朝日新聞に概要が掲載された。町民の健康を守るため①公共用地での使用禁止条例の制定、②給食パンの残留農薬検査の実施を提案する。

答 国の食品安全委員会でも安全が確認されているとのことであり、禁止条例制定は考えていない。また、残留農薬検査については学校給食会の検

査データの確認を進める。学校給食は安全があつてこそ、細心の注意を払いおいしい給食を提供する。

問 この夏、町営野球場周辺に除草剤が散布された。ラウンドアップを使用したか。

答 競技をする部分には使用していないが、その周辺は一部使用している。

道の駅基本計画の策定は

答 基本構想を基に着手する



鈴木 征 議員

問

道の駅基本計画について、現在の進捗状況と基本計画の骨子を問う。

答

庁内プロジェクトチームや観光開発審議会の諮問・答申を踏まえ、道の駅基本構想を策定した。整備コンセプトや基本方針、導入機能・施設等の概要のほか、道の駅設置位置や管理運営手法についての大きな方向性を表している。特に設置位置については交通量が多く見込め、観光・防災・道路等の情報発信にも便利で町

問

地元農産物の販売が道の駅成功の一つの鍵を握るが、どの部署で、どのような体制で具体的な検討をするのか。

答

本年度より観光交流推進室を設置し、室長ほか職員1名を配置した。また、地域おこし協力隊の募集も行っており、体制強化を図っていく。

問

道の駅整備の実現に向けては、

地域住民の理解を得ることが大きなポイントだが、詳細を知らない住民が多い。住民説明会や懇談会を実施する

答

考えがあるのか。

今後の基本計画の策定は、関係団体等の推薦者や一般住民等からの公募により、道の駅検討会を組織する。必要に応じて住民説明会等で意見交換の機会を設けて、具体的な内容を検討していく。

問

地域住民が求める、位置、機能、規模の道の駅となるよ

答

うに、どのように合意形成を図るのか。

道の駅検討会における議論や町民への丁寧な情報提供による相互理解により、できる限りの合意形成を図る。また、町民の方々が道の駅に主体的に関わり、自分たちの道の駅というオーナーシップを醸成できるように進める。



農産物直売所かしわで（千葉県柏市）

鳥獣被害が増加、対策は

答 駆除の他、里山林を整備

問 農作物の鳥獣被害対策を実施しているが、被害は拡大している。新たな対応策が必要だ。計画はあるか。

や農地の間に緩衝地帯を設けるなどの里山林を整備する。

問 サル以外にも様々な動物による被害が生じている。里山整備だけでは不十分ではないか。

答 捕獲隊の駆除頭数にも限度がある。とりあえず、里山

答 只見町鳥獣被害対策協議会を組織し対応しているが、被害を防ぎきれない。今後野生動物と生活圏

答 被害を受けると耕作意欲も衰える。耕作放棄地の荒廃化も鳥獣被害の拡大につながっている。荒廃地の整備をしたくてもできない人が増えている。対策はあるか。

整備で理解いただいた。い。

問 被害を受けると耕作意欲も衰える。耕作放棄地の荒廃化も鳥獣被害の拡大につながっている。荒廃地の整備をしたくてもできない人が増えている。対策はあるか。

答 個人所有の物件なので、持ち主など、お願いすることになる。



収穫前にイノシシに荒らされた田んぼ

町民の生活向上政策は

答 新規就農者や新規事業者への補助

問 魅力あるまちづくりとして、町民の総所得の向上は必須条件だ。町として出来ることは何か。

答 農業においては新規就農者が増加しており、収益性の高い農業経営が図られている。商工業については、新規事業者の育成、起業・創業する個人等へも継続して支援していきたい。

問 林業・漁業への振興対策はあるか。

答 林業は、地元産材活用支援事業を推進しており、今年度から複層林整備事業を実施し、地元木材の活用を進めていく。漁業は外来魚駆除対策を継続し、溪流魚の放流にも補助を行ない、交流人口の拡大を進める。道の駅開設に向けて、林業・漁

業を利用した新たな産品が必要だ。今後の方針は。

答 林業は、ナラ材等で検討して行きたい。漁業については魚のふ化技術も含め、対応したい。

問 つる細工、伝統工芸品等の伝承、後継者育成をすることにより、所得の向上にもつながる行政主導で組織化できないか。

答 道の駅開設に当たり、組織化は必要と考える。今後、検討したい。

議員 好行 鈴木 好行



駅名に冠を付けたらどうか

答 貴重な意見を頂いた



なかのたかのり 議員
中野大徳

問

「只見線利活用推進協議会」と

「只見線利活用促進実行委員会」の取組みは、

答

只見線利活用推進協議会では、

副知事を会長として、本年4月に発足、取組みとしては只見線利活用計画に基づき、県主導により、沿線自治体と連携・調整を図りながら、情報発信活動や利活用促進活動を行っている。只見線利活用促進実行委員会では、只見線車窓ガイドブックの配布、金山町と共同での代行バスラッピ

ング、景観整備事業、只見線PRノベルティの作成などを行なっている。

問

利活用の面では、現在のダイヤでは

は若松市に2、3時間しか滞在できず利用しにくく、ダイヤの改正が必要だ。PR面では、駅名にいわゆる冠を付けたらどうか。例えば、「河井継之助記念館前」、「蒲生岳登山口入り口」、「ユネスコエコパーク登録の町只見」とか町長の立場で提案してほしい。

答

貴重な意見を頂いたと思っ

る。



利用促進実行委員会で作成した「車窓ガイドブック」

鳥獣被害防止計画の作成を

答 より効果的な対策を検討したい

問

町は鳥獣被害をどの様に把握しているか。

答

被害の把握については、捕獲隊に調査を委託し、被害状況を集落から聞き取りを行ない状況把握に努めている。30年の被害額は115万程度。

問

対策として銃器やワナ等による駆除、捕獲。新たな対策としては里山林整備事業等、鳥獣との緩衝地帯を設ける対策をとっている。

鳥獣被害対策は現状で充分だと思っ

ているのか。「只見町鳥獣被害防止計画」を作成し、県や国

答

からの支援を受けて集落や地域ぐるみの対策が必要だと思っ

他の事例とか参考にさせて頂き、現状では充分だとは思っていないので、より効果的な計画書策定等を通じて対策を講じていきたい。

全ての園児の 保育料無料化を

答 将来の出生数みながら判断する

問 国の幼児教育無償化の内容が明らかになり、3歳～5歳児及び住民税非課税世帯の0歳～2歳の子供が無料となる。すべての園児の保育料無料化を図るべき。また、今後の子育て支援策について「未就学児、就学時別の各種支援や助成制度等を充実させ

る」との答弁であったが、その後の進捗状況を示せ。

答 様々な子育て支援や助成制度は継続して取り組む。保育料は年長児・年中児無料化に取り組んできた。給食費（副食費）は一昨年からの徴収していない。国は給食費4500円を無償化の

対象としていないが、町は徴収しない方向で検討している。

問 国の保育料無償化により町の負担額はどうなるか。

答 今年度の国からの交付額は、3歳～5歳の保育料対応分616万円、交付されない給食分135万円で差引481万円と

なる。3歳以下の課税世帯の保育料は231万円となる。

問 交付額を踏まえ、3歳未満児の保育料無料化を。

答 子供の年齢層により保育士対応が異なる。将来の出生数みながら判断する。



やまぎしくに お
山岸国夫議員

福祉灯油の制度化を 求める

答 降雪量と灯油単価で検討

問 過去3回、福祉商品券（福祉灯油）の助成を提案してきた。過去実施した福祉灯油の助成は、現在においても町民から大変喜ばれている。町民の命と健康を守る責務は町政にある。町民が喜んでいいる施策を町独自の判断として実施すべきであり予算措置を求める。

答 灯油単価は現在価格のまま推移

している。今後の降雪量や気温の状況などの動向を踏まえ判断する。

問 降雪量と気温の基準を示せ。

答 豪雪対策本部ができた段階で対応する。

問 過去3年間に豪雪対策本部の設置あったのか。

答 平成29年度に豪雪対策本部設置された。

問 その時の対応は。

答 灯油単価を見ていた。

問 町長は敬老会の祝辞で高齢者が只見町の発展に寄与されたことについて謝辞を述べていた。お年寄りの収入が減っている下で暖かい手を差し伸べる必要がある。

答 降雪量と灯油単価で判断する。



保育所で元気に過ごす園児

診療所の将来像は

答 診療所存続は町の最重要課題



さか い ゆう いち
酒 井 右 一 議員

問

去る12月会議で議決した朝日診療所特別委員会の報告書で、町の医療の現状と将来のあるべき姿を示した。この議決を踏まえた上で、町長として診療所の将来像を示されたい。

答

現在、看護師等が不足しているのこれを改善してから考えたい。

問

過去の議事録を見ると、3月会議、6月会議とも同じを答弁している。朝日診療所がこの地域にあ

って、将来どのような診療所であるべきか問うている。将来の姿が決まれば、医療職員の数もそれに合わせて変わるものだ。経営計画も変わる。現状にとらわれて、大きな目標を見失うべきではない。

答

診療所の存続は町の最重要課題と考えている。今議論している朝日診療所の総合診療科という考え方については、医師や地域の方々と良く相談しながら理解を得ながら進めたい。総合医療は年度途中ではなく、年度初めの4月を目途とし、診療所の理念と合わせ議論していきたい。

問

診療所には宿直員がいない。医師や看護師が施設の夜間管理に当たっている。今後さらに、八十里峠の開通に伴い、予

測できない多くの問題が考えられる。医療スタッフはその業務以外の業務をすることがないよう、宿直員を配置すべきだ。

答

宿直員の件は医療の現場から話になかった。どのような形が良いか内部で検討させて頂きたい。

問

将来に備え、朝日診療所の運営のための地域総合医療推進協議会（仮称）を創設し、地域総合医療の問題に対処するつもりはないか。これは地域住民とともに住民自治の力で地域医療を守る考え方だ。

答

過去に医師不在となった時にその様な事があった。その構想については内部で検討させて頂きたい。



診療所で診察をする若山所長

チームに貢献できる職員の育成を

答 課題意識を持ち取り組んでいる

問 人事評価は具体的にどのようになっているか。

答 職員の人材育成を目的としている制度であり、具体的な指摘はない。

問 職員の不祥事や事務の不手際などが目立つようになり、町民も心配している。今後の町職員の採用計画、特に若年層の採用について伺う。

問 応募が少ないこととはどう分析されているか。

答 ある程度応募はあるが、専門職が少ない。一定の水準をクリアした人材を求めている。

答 現時点では20代の職員が少ない。将来を見通し職員の少ない年代の採用、人材確保に努めていく。

問 求人予算を確保し有料の求人サイトを活用してはどうか。

答 求人予算を確保し有料の求人サイトを活用してはどうか。

問 有効な手段として検討したい。

答 広報ただみを活用し、魅力をアピールしてはどうか。

問 今後の誌面作りには活かしたい。

答 ユネスコエコパークの担当は専門性が高く、アップデートが必要のため研究も勉強も平行して継続しなければならない。右腕となる職員の育成が急がれるのではないか。

問 ブナセンターの中でも人材育成をはかりつつ、町職員への採用情報なども提供している。

答 只見振興センターと朝日振興センターで職員が兼務に

問 なっている。窓口業務に支障はないか。

答 窓口は生涯学習サポーターで対応している。只見と朝日の間で職員が移動するためお時間をいただく場合もあるが、ご理解いただきたい。

問 イベント準備などはシルバー人材センターの活用も検討されてはどうか。

答 来年度に向け調査検討したい。プロジェクトチームは人材育成だと認識している。今年度の状況は。

問 今年度は職員が業務執行に意欲と課題意識をもって自ら企画実施する自主研修を行っている。

答 今年度は職員が業務執行に意欲と課題意識をもって自ら企画実施する自主研修を行っている。



とみちひろ 黒道 議員

問 只見振興センターと朝日振興センターで職員が兼務に

答 只見振興センターと朝日振興センターで職員が兼務に

チームビルディングとは

チームビルディングとは、『仲間が思いを一つにして、一つのゴールに向かって進んでゆける組織づくり』のことです。もう少し言葉を補うと、『仲間が主体的に自分らしさ、多様性を発揮しつつ、相互に関わりながら一丸となって共通のゴールを達成しようとチャレンジする、そうした組織をつくるための取り組み全般』と言えます。

チームビルディングとは (株式会社チームビルディングジャパンHPより抜粋)



シリーズ

若者たちの目線 vol.21

只見町って
なじよだや？

只見中学校
2年 三瓶心乃花
只見の良い所は、人が優しい所です。朝、登校している時、たくさんの方が「おはよう」



只見中学校
3年 宇野心晴
皆さんの思う只見の良い所はどこですか？ 私は、やはり地域住民の方々の温かさや豊かな自然だと思います。先日修学旅行に行つたとき、離れて気付く



温かい町 只見

や「いつてらっしやい」など声をかけてくださります。そのおかげで、私は、朝から元気に登校することができます。只見町は年々、人が減ってきていますが、私は、これからもたくさんの方にあいさつをして、この只見町を守っていききたいと思います。

只見町のいふこころ
地域の温かさや安心感を改めて感じることができました。只見を訪れる方々には、観光だけでなく、ぜひ心もいやしに来てほしいと思います。またそのために只見の自慢の四季折々の自然などを活用すれば、さらに只見の良い所を皆さんに知ってもらえるのではないかと思います。

今年の秋、山の恵みはどうやら不作らしい。となるとクマやサル、新顔のイノシシなど野生動物が活発に動く。人々が春から秋の収穫を楽しみに汗を流した野菜などが一夜にして収穫ゼロとなる。そのショックは被害を受けた人のみ強烈に感じる。今度の議会でも野生動物の被害や対策が熱く議論された。自然と人間との共生はむずかしい。ひとときり栗や雑キノコなど山の幸が山里の直売所を賑わせた。只見の道の駅も、こうした山の幸・川の幸がいっぱい並び、賑わう直売所が期待されている。
(藤田 力委員)

編集後記

発行責任者 議長 齋藤 邦夫
広報広聴常任委員会
委員長 目黒 仁也
副委員長 目黒 道人
委員 藤田 力
大塚純一郎
山岸 国夫
鈴木 好行